

## 調理作業性に優れたシステムキッチン「トリプルワイドIHシステム」

### Kitchen System for Improved Workability with Triple IH Cooking Heater Placed Linearly

住建事業本部 システムキッチン事業部

山田 秀昭

**製品開発の背景:** 調理作業性の向上を目指し、国内で初めて横並び3口IHヒータを搭載したシステムキッチンを開発した(図1)。

**セールスポイント:** ①三つのIHヒータを同時に使用可能な新レイアウトを実現。②IHヒータの手前に新しい作業スペースを確保。③カウンタ面とのフラット性向上により調理作業性と清掃性を向上。

**技術的特徴:** どこを押してもスムーズに出し入れ可能な左右同期方式のプッシュオープン機構を採用した手元操作部(図2)をカウンタ前面下に配置し、トッププレートから操作部をなくすことでIHヒータ手前に新しい作業スペースを確保している。また、三つのIHヒータを横並びにすることで、奥行の浅いレンジフード(図3)の設置が可能となり、背の高い人もレンジフードを気にすることなく調理ができる。

IHトッププレートの薄型化とカウンタの補強により、トッププレートを落とし込んでカウンタ面とフラット化することで調理作業性と清掃性の向上を図っている(図4)。また、カウンタ表面に排気口を、キャビネット内に排気風路を形成してIH機器本体の薄型構造を実現している。さ

らに、キャビネット内では吸排気を分離する構造とするとともにダクト形状の工夫により圧損を低減して排気効率を上げることで、熱の漏れによるキャビネット内の温度上昇を最小限に抑え、収納した食品に対する影響を抑制している。



図1 横並び3口IHヒータ搭載



図2 収納式の手元操作部



図3 奥行の浅い専用レンジフード



図4 フラット性向上

## 2012年度省エネルギー基準対応の全自動掃除機能付き便器「アラウーノS」

### Energy-Efficient Automatic Washing Toilet with Cleaning Function

住建事業本部 ドレッシング事業部

宮本 真人

**製品開発の背景:** 2012年度省エネルギー基準の目標消費電力量に対応するとともに全自動掃除機能付き便器の普及・拡大を図るため、新たに「アラウーノS」を開発した。

**セールスポイント:** ①2012年度省エネルギー基準を達成するとともに、小洗浄水量4Lを実現。②「アラウーノ」の「お手入れラクラク機能」の基本となる新素材・泡洗浄・スパイラル水流を継承。③既存の給排水管を利用できる専用手洗い器を品ぞろえ。

**技術的特徴:** 便器の排水には床排水や壁排水などがあり、従来のタンクレス便器では手洗い器の排水を接続することができなかった。「アラウーノS」では、便器左右後方または背面のいずれか上部から便器内部へ手洗い器の排水を接続できる構造とし、手洗い器付きのタンクレス便器を実現した。

節電に関しては、省エネルギー法の目標年度が2006年度から2012年度に繰り延べられるに伴い、消費電力量の基準値が引き下げられた。「アラウーノS」では、温水タンクの保温材の断熱性能を高め、さらに保温材の隙間を減らすことにより保温性能を向上させている。また、便ふたが閉まったときに便座を完全に覆う構造とすることにより、便座の放熱を低減してこの基準をクリアしている。また、

便器洗浄面の形状を改良し、便器洗浄動作と排水動作のタイミングを最適化することにより、小洗浄時の水量を4Lに低減している。その結果、従来の陶器製タンクレス便器「シャワレイントレス」と比較し、消費電力量37%、使用水量7%、ライフサイクルにおけるCO<sub>2</sub>総排出量約25%の削減を実現している。



図1 全自動掃除機能付き便器「アラウーノS」(手洗い付き)